

魅力的 ダウン症の弟

「39窃盗団」上映中の押田監督

鏡が丘特別支援学校の生徒らと交流した押田興将監督（後列右から2人目）、弟の清剛さん（同3人目） 12日



鏡が丘特支で交流

映画「39窃盗団」の押田興将監督と、実弟で主人公を務めた清剛さんが2日、鏡が丘特別支援学校を訪ねて高等部の生徒らと交流した。映画はダウン症の主人公、キヨタカを中心に繰り広げられる窃盗団の珍道中を描いている。

ことに意味があると思った。小さな映画だけど、たくさんの方が協力してくれた」と意義を強調した。

清剛さんは「撮影をしながらいろいろな物を探したり、とても楽しかった」と少し緊張気味に振り返った。

映画の紹介を兼ねて、地元小学校と交流を深めようと今回の訪問が実現した。押田監督はダウン症の弟を主演に起用したことについて「普通と違う弟が、そのまま出演する

押田監督は「兄弟なので弟を障がい者として見たことはなく、とてもチャイミングな人だと思う。人の人生はそれぞれドラマチックだということ、この映画を見ながら感じてほしい」と呼び掛

けた。

アニメ映画に興味があるという高等部3年の大山綾さん(17)は「話を聞いていて映画のシーンが目に見えてくるようだった。映画作りにとっても興味を持った」と感想を話した。

「39窃盗団」は桜坂劇場で16日まで上映中。